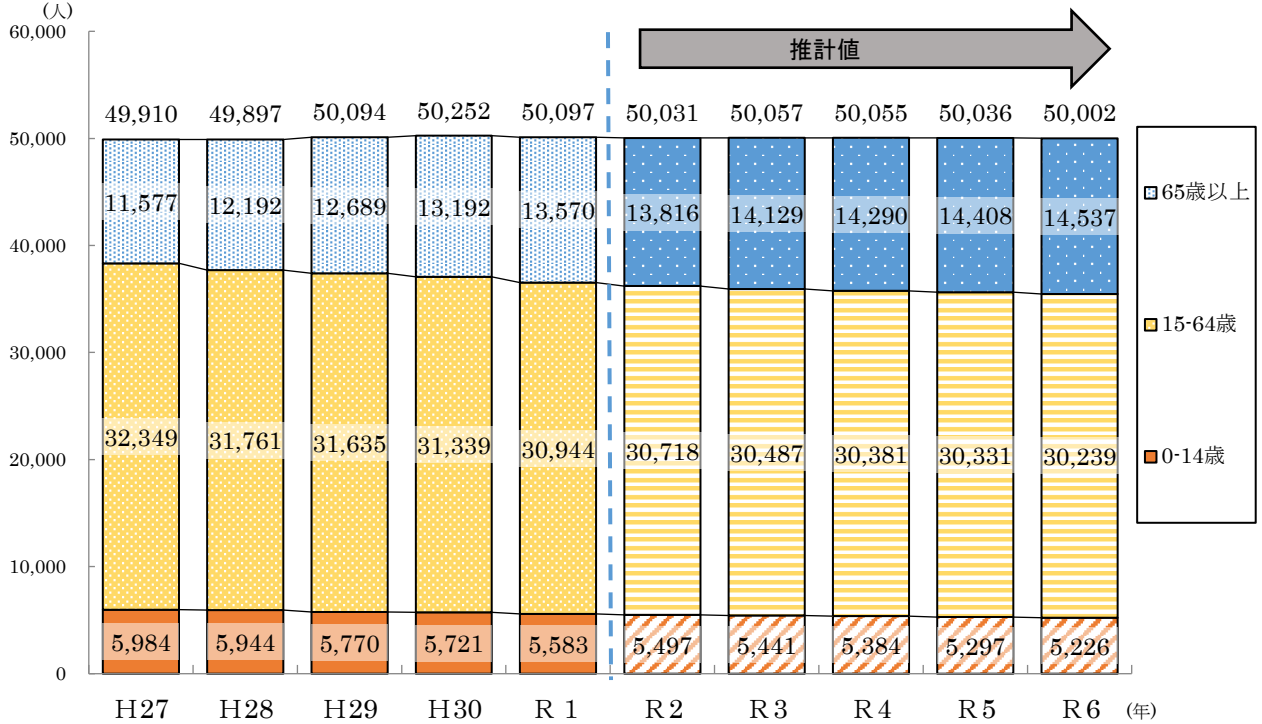


富里市の子どもと子育てに係る現状

1. 現状

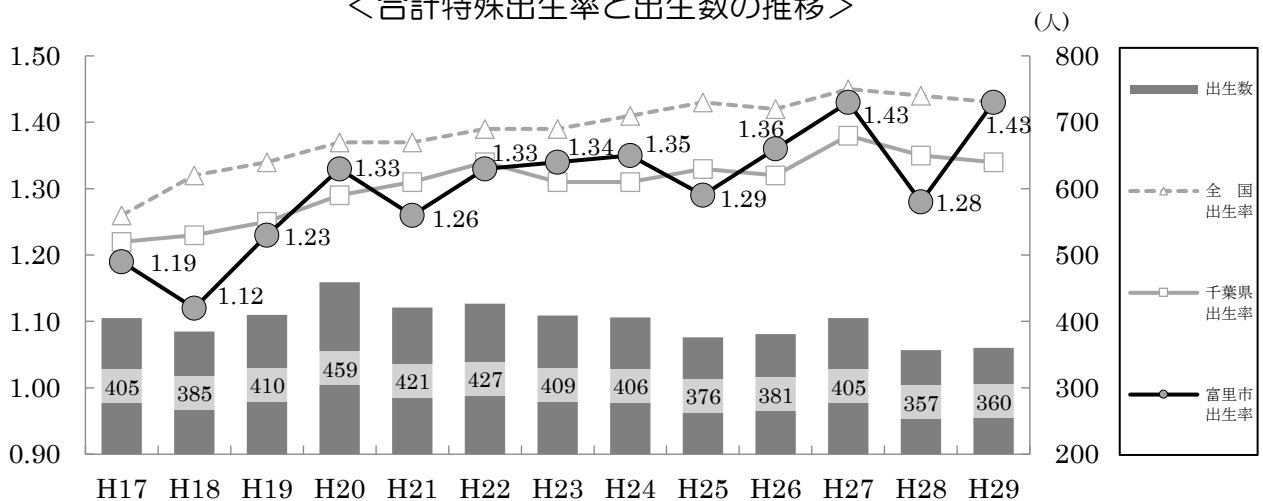
<人口の推移>



各年3月末 (出典)住民基本台帳

富里市の総人口は、5万人を前後にほぼ横ばい傾向にあります。しかし、少子高齢化は進んでおり、今後も同様の傾向が進むと推計されます。

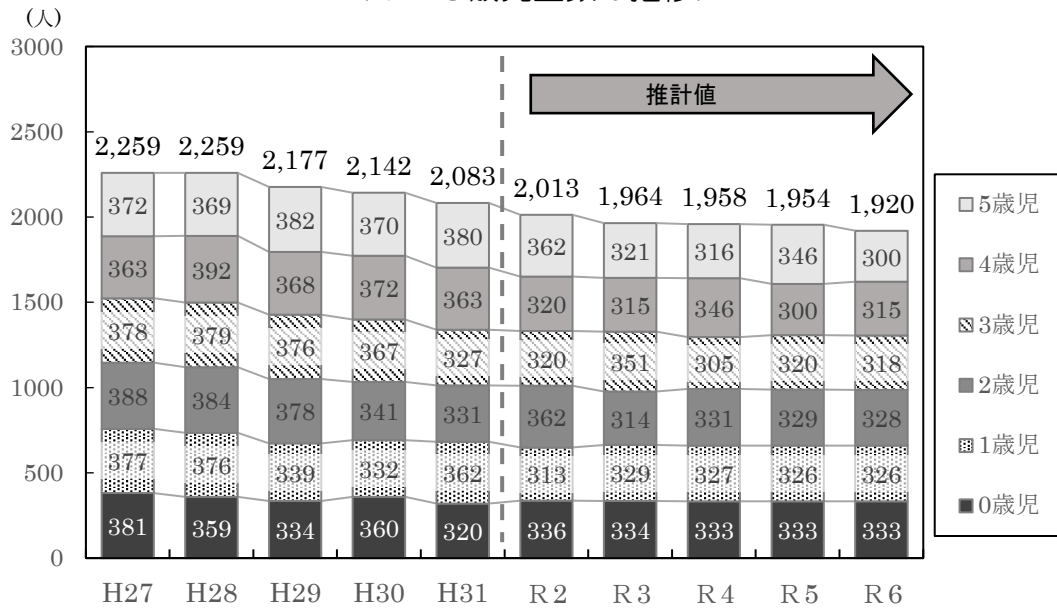
<合計特殊出生率と出生数の推移>



(出典)出生数 住民基本台帳 出生率 千葉県衛生統計年報

一人の女性が生涯に生む子どもの数を示す「合計特殊出生率」について、富里市では平成18年から上昇傾向が見られ、1.30前後を推移しています。平成29年は、全国(1.43)と並び、千葉県内でも高い出生率となっています。

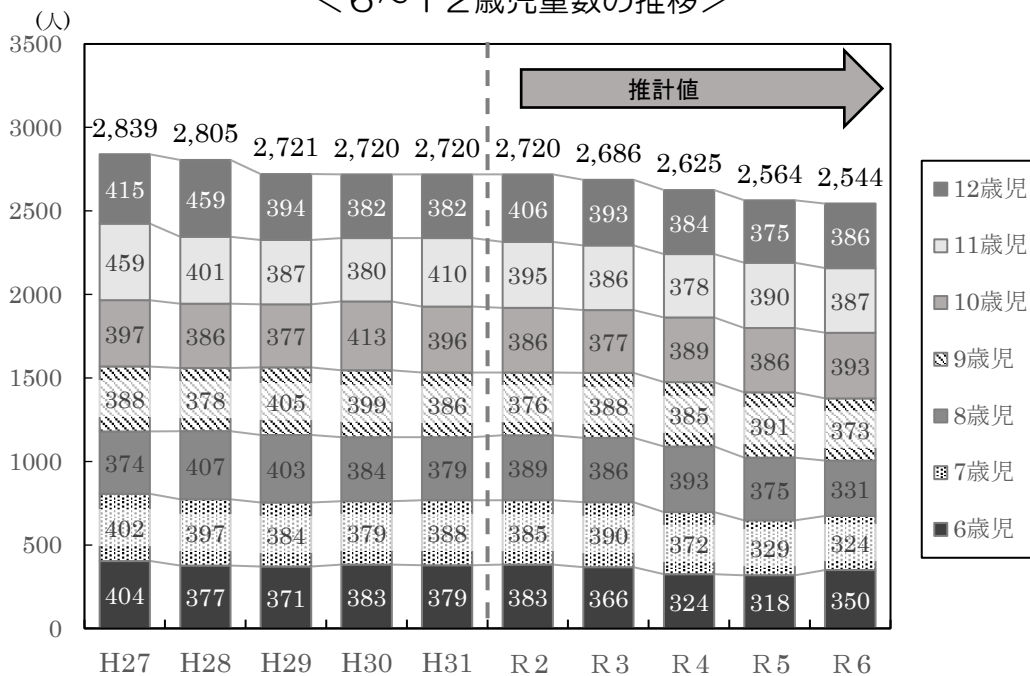
<0～5歳児童数の推移>



平成 31 年までは各年 3 月末現在 (出典)住民基本台帳

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月までの 0～5 歳児の人口推移を見ると、全体として減少しています。年齢別にみると、最も減少したのは 0 歳児（16%減）で、4・5 歳児を除き減少しています。令和 2 年以降も全体として減少傾向にあると推計されます。

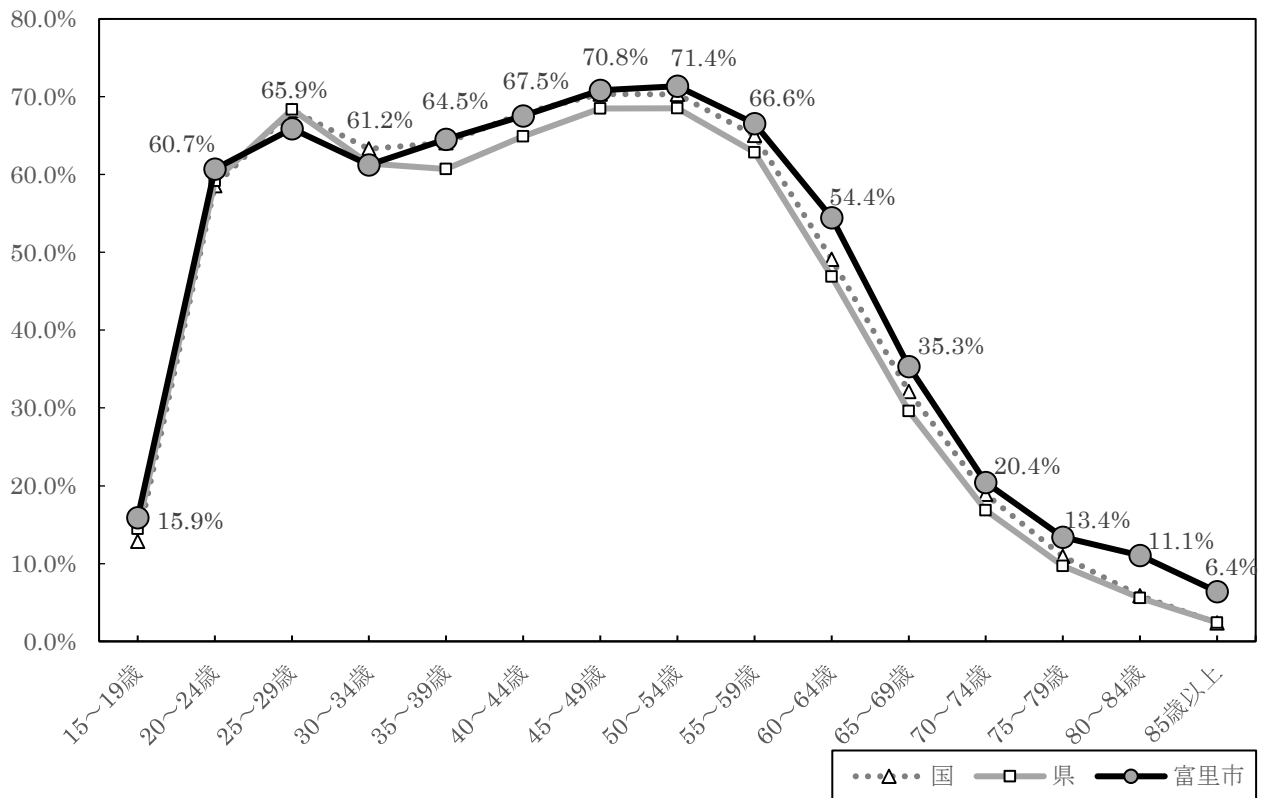
<6～12歳児童数の推移>



平成 31 年までは各年 3 月末現在 (出典)住民基本台帳

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月までの 6～12 歳児の人口推移を見ると、全体として減少しています。同期間の 0～5 歳児の人口も減少していることから、今後も減少傾向は続いていくと推計されます。

＜女性の年齢別就業率＞



	国	県	富里市		国	県	富里市
15～19歳	12.90%	14.50%	15.90%	55～59歳	65.00%	62.90%	66.60%
20～24歳	58.60%	59.20%	60.70%	60～64歳	49.10%	46.90%	54.40%
25～29歳	68.20%	68.40%	65.90%	65～69歳	32.10%	29.60%	35.30%
30～34歳	63.30%	61.40%	61.20%	70～74歳	18.90%	16.90%	20.40%
35～39歳	64.10%	60.70%	64.50%	75～79歳	10.90%	9.70%	13.40%
40～44歳	67.90%	64.90%	67.50%	80～84歳	5.90%	5.60%	11.10%
45～49歳	70.30%	68.50%	70.80%	85歳以上	2.40%	2.40%	6.40%
50～54歳	70.30%	68.50%	71.40%	総体	45.40%	45.00%	49.30%

(出典)平成 27 年国勢調査

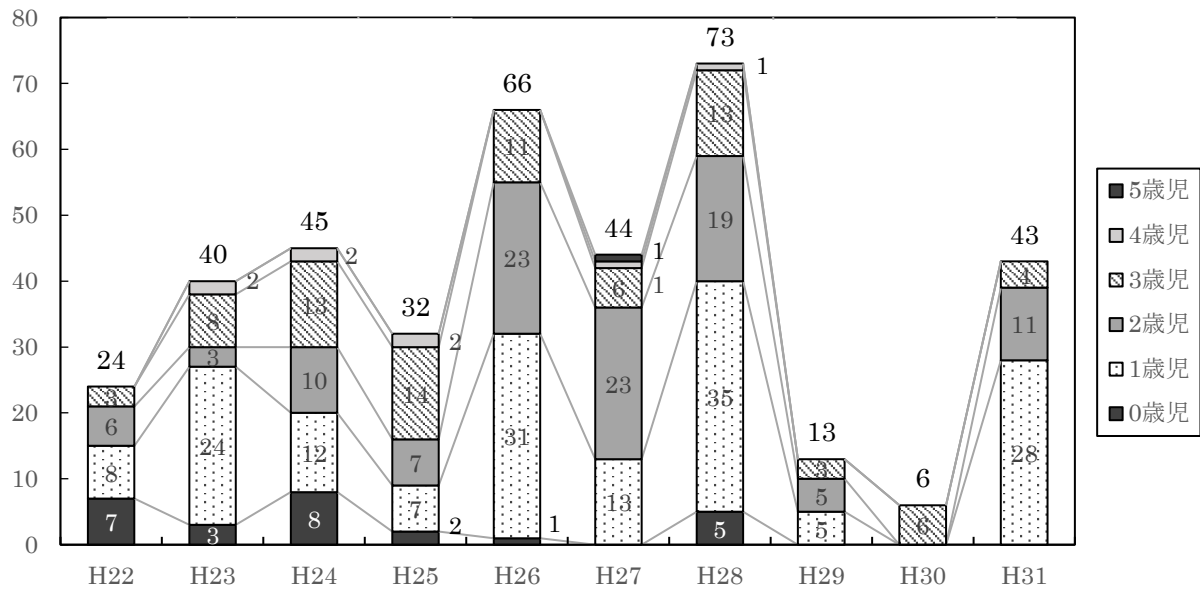
女性の年齢別就業率を比較すると、25～29歳と、いわゆる「M字カーブ」※の谷の部分にあたる30～34歳で国、県を下回っているものの、それ以外の年齢階層では、国、県を上回っており、全年齢総体の就業率を見ても、国、県を上回っています。

※「M字カーブ」とは

- ・・・就業率が結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する女性の就業状況の特徴を表す曲線。

＜待機児童数の推移＞

(人)



(出典)子育て支援課(各年4月1日現在)

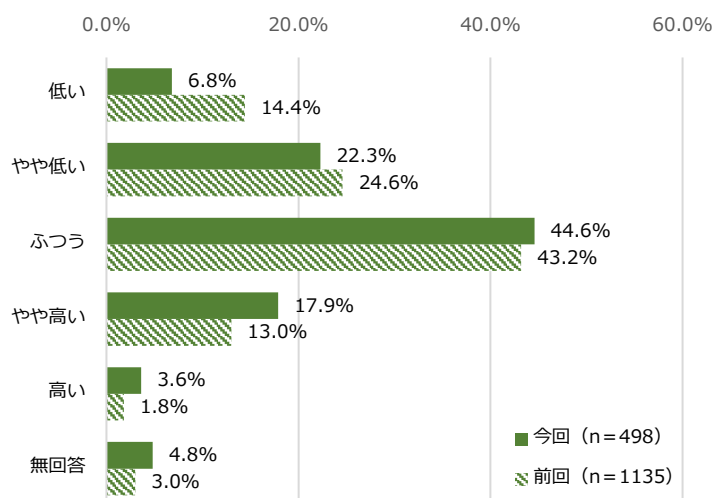
市内には現在、保育園（小規模保育施設を含む）が6園、認定こども園が2園あります。

平成23年以降の待機児童数は、平成25年を除き40名を超える状況が続き、平成28年は最も多い73名となりましたが、平成29年以降の葉山こども園、向台こども園あい・あい保育園富里園、ことり保育園の開園による定員増により、平成30年には、平成22年以降最も少ない6名となりましたが、平成31年度は、再び増加し43名となっています。

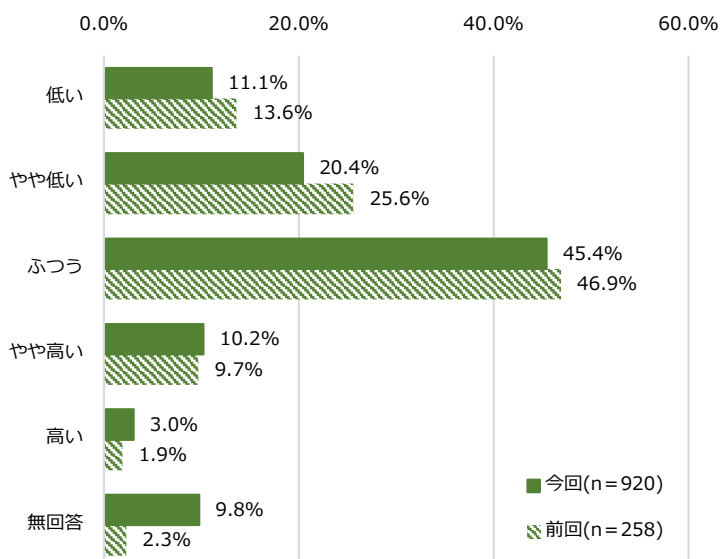
2. ニーズ調査結果

住まいの地域における子育て環境や支援の満足度

【就学前児童調査】



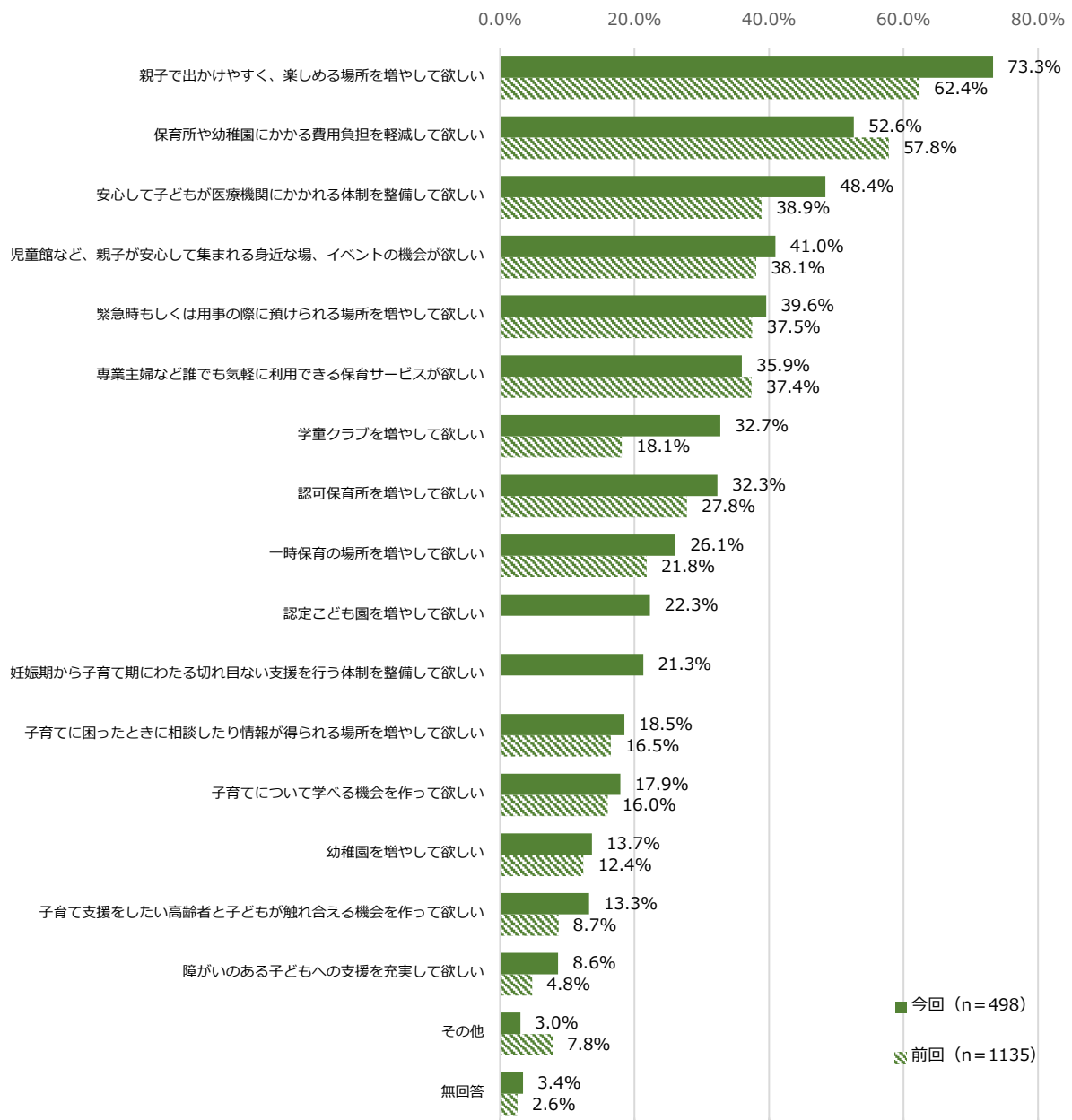
【小学生調査】



- 就学前児童調査での住まいの地域における子育て環境や支援の満足度は、満足度が「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』が 29.1%で、「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』が 21.5%となった。前回との比較では『低い』が 9.9ポイント低くなり、『高い』が 6.7ポイント高くなっており、満足度が向上している。
- 小学生調査での住まいの地域における子育て環境や支援の満足度は、満足度が「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』が 31.5%で、「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』が 13.2%となった。前回との比較では『低い』が 7.7ポイント低くなり、『高い』が 1.6ポイント高くなっている。

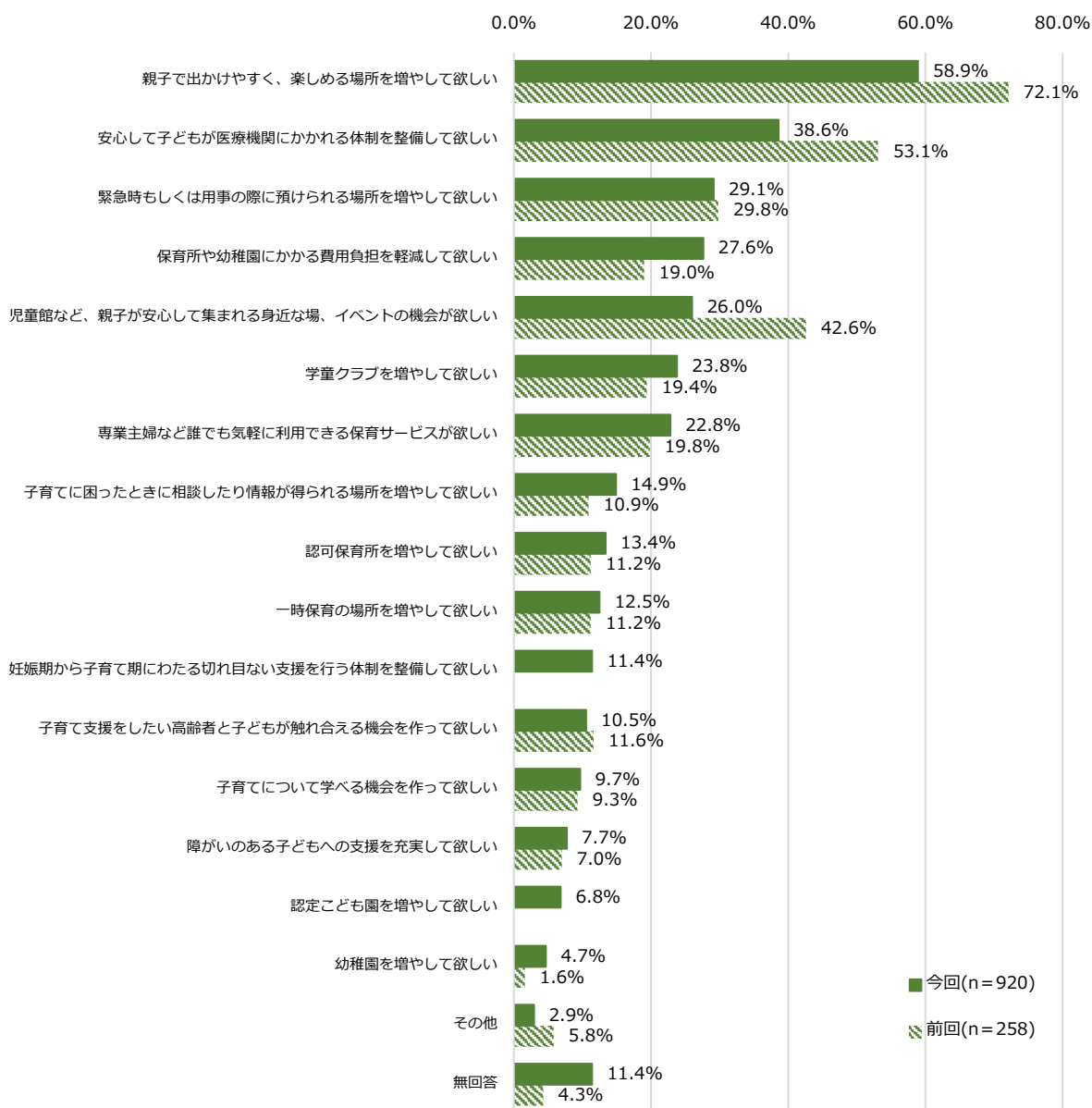
充実を図って欲しい市のサービス（複数回答）

【就学前児童調査】



- 就学前児童調査での充実を図って欲しい子育て支援は、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が73.3%と最も高く、前回よりも10.9ポイント高くなった。次いで、「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」52.6%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」48.4%などとなった。

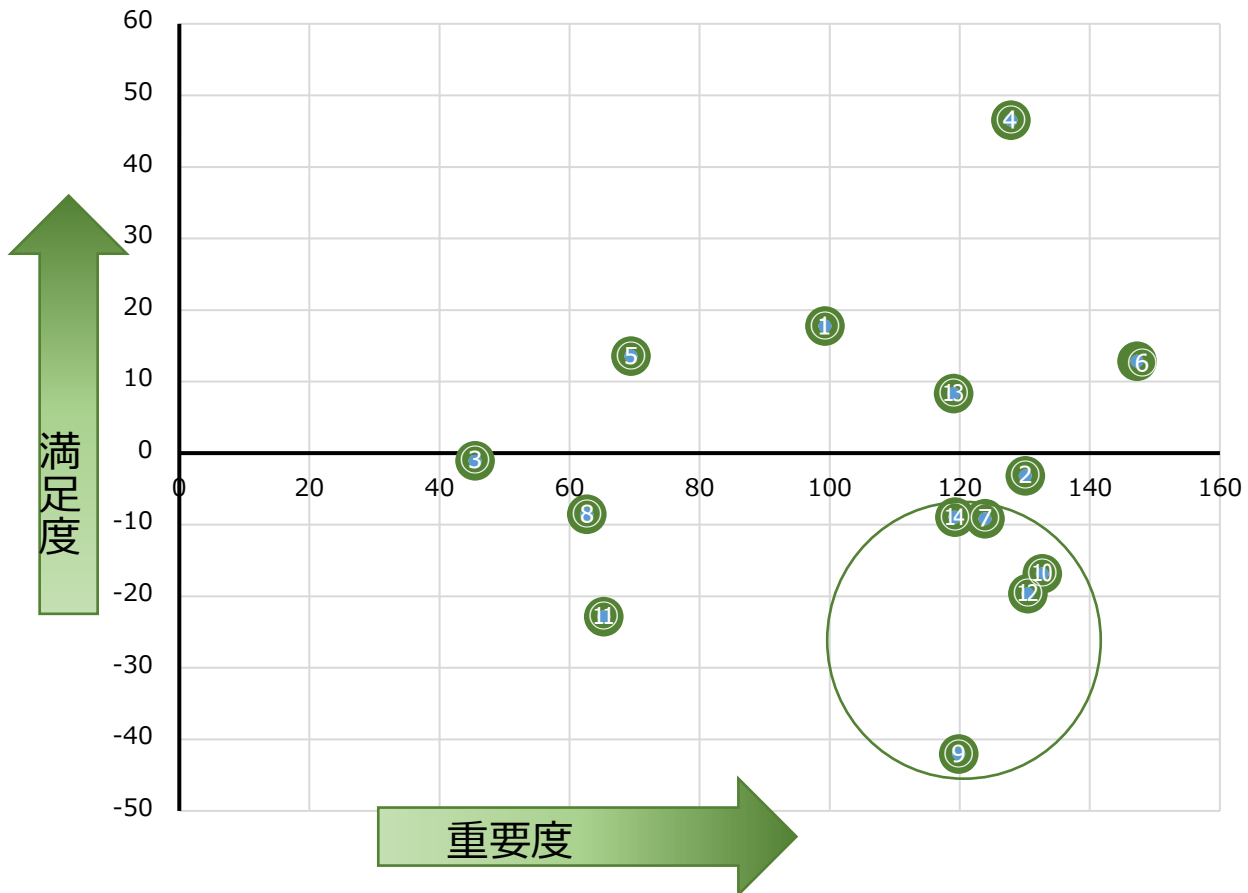
【小学生調査】



- 小学生調査での充実を図って欲しい子育て支援は、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が58.9%と最も高いが、前回よりも13.2ポイント低くなった。次いで、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」38.6%、「緊急時もしくは用事の際に預けられる場所を増やして欲しい」29.1%などとなった。

各施策に対する満足度と重要度

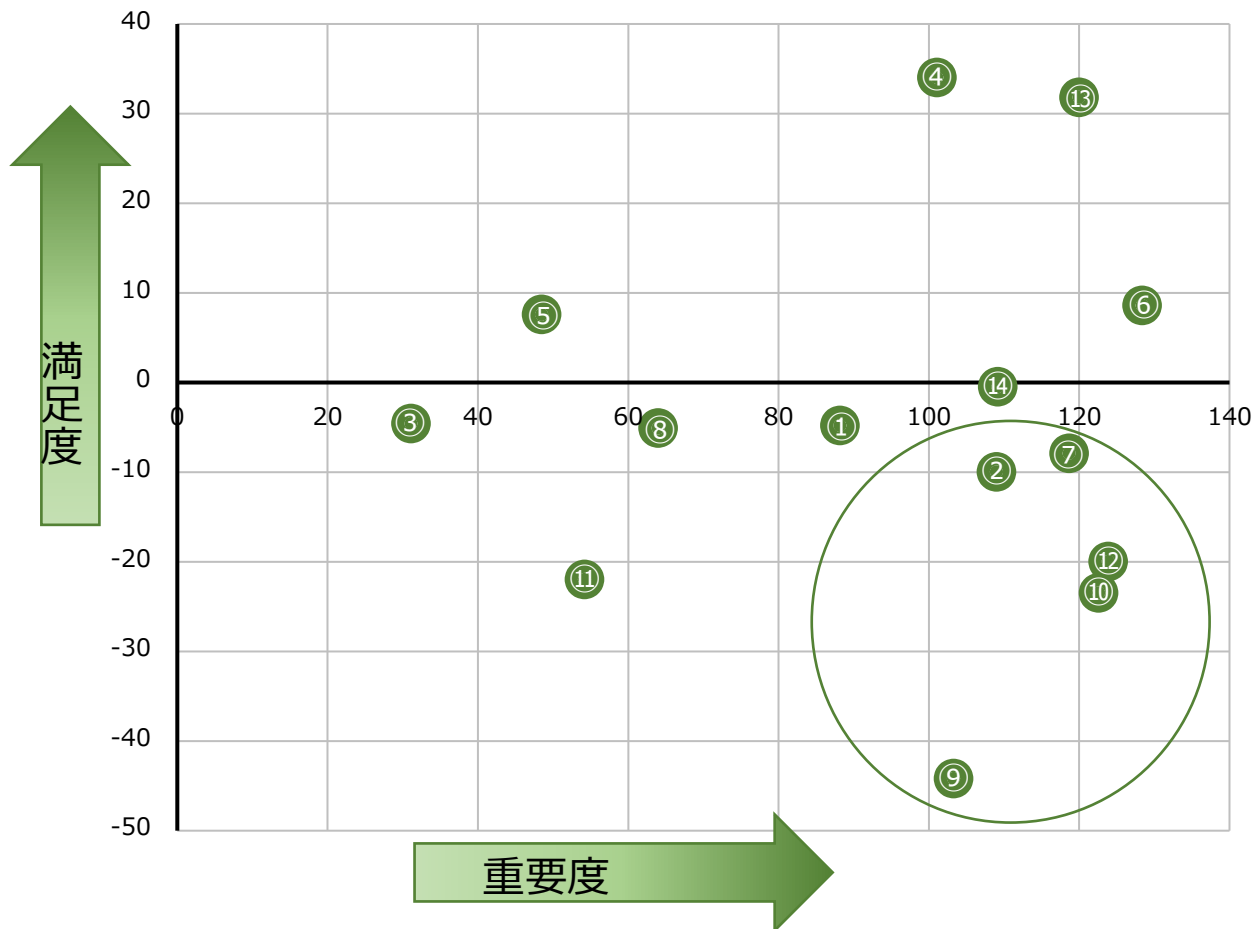
【就学前児童調査】



- ①子育て支援サービス ②保育サービス ③子育てネットワークづくり ④子どもや母親の健康の確保 ⑤食育の推進
 ⑥小児医療の整備 ⑦学校教育環境の整備 ⑧家庭や地域の教育力の向上 ⑨良質な住環境の確保
 ⑩安心・安全なまちづくりの推進 ⑪仕事と生活の調和実現に向けた情報発信・啓発
 ⑫子どもの交通安全を確保するための活動 ⑬防犯体制の整備 ⑭児童虐待防止対策の充実

- 就学前児童調査での各施策に対する満足度と重要度の相関関係をみると、満足度が低く重要度が高いものは、「⑨良質な住環境の確保」、「⑫子どもの交通安全を確保するための活動」、「⑩安心・安全なまちづくりの推進」などとなった。

【小学生調査】



- ①子育て支援サービス ②保育サービス ③子育てネットワークづくり ④子どもや母親の健康の確保 ⑤食育の推進
 ⑥小児医療の整備 ⑦学校教育環境の整備 ⑧家庭や地域の教育力の向上 ⑨良質な住環境の確保
 ⑩安心・安全なまちづくりの推進 ⑪仕事と生活の調和実現に向けた情報発信・啓発
 ⑫子どもの交通安全を確保するための活動 ⑬防犯体制の整備 ⑭児童虐待防止対策の充実

- 小学生調査での各施策に対する満足度と重要度の相関関係を見ると、満足度が低く、重要度が高いものは、「⑨良質な住環境の確保」、「⑩安心・安全なまちづくりの推進」、「⑫子どもの交通安全を確保するための活動」などとなった。